

居安思危 vol.1

平成 26 年 5 月 26 日
大阪府立大手前高等学校
発行 大川 香理

居安思危 思則有備 有備無患

安きに居りて危うきを思う 思えばすなわち備えあり 備えあれば患い無し

(出典「春秋」の注釈書「春秋左氏伝」)

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震は地震の規模の大きさだけでなく、その後の津波による甚大な被害、さらに福島第一原子力発電所の事故と、想像を遥かに超えた大災害となりました。この大災害の教訓を活かし、今後同じような被害を出さないために今まで以上に国や地方自治体、学校での取り組みが進められています。本校でも今年度から災害時に学校待機になることを想定し、水や食料、レスキューシートの備蓄を始めました。

この『居安思危』は表題の通り、危機状態にない今だからこそ様々な危機事象について考え、万が一事件・事故・災害に遭遇したときに、適切に自らの安全を確保できる行動を取れるよう、みなさんと一緒に考えていきたいと思い発行しています。



今回はたくさんある危機の中から、火事について考えてみたいと思います。

まずは火災とは何でしょう？

一般に火災とは「人の意図に反して発生し、若しくは拡大し、または放火により発生して消火の必要のある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設またはこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、または人の意図に反して発生し、若しくは拡大した爆発現象をいう」と定義されています。つまり燃えてはいけないうものが燃えて、消す必要があるということです。

その燃えるという現象は「発熱・発光を伴う激しい化学反応」です。例えばライターで紙に火をつければ燃えるように、可燃物が空気中の酸素と反応して熱と光を発するのです。ものが燃焼するためには、可燃性物質・酸素・熱源（点火エネルギー）が必要です。そして、燃焼が継続するためには酸化に必要な高温状態を保つことが必要になります。

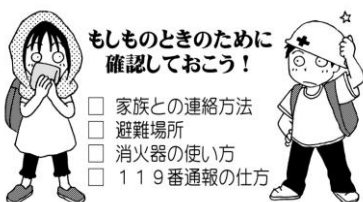
これらを逆に利用すると効果的に消火ができます。消火方法としては熱源から熱を奪い、燃焼物を発火点以下に下げる「冷却消火法」・燃焼に必要な酸素の供給を絶つ「窒息消火法」・まだ燃焼していない部分をすでに燃焼している部分から切り離し、燃焼の拡大を防ぐ「除去消火法」・ハロゲン化物を使用する「負触媒消火法」の4つがあります。

では、もしみなさんが火災に遭遇した場合にまずしなければならないことは何でしょうか？

「すぐに避難する」「消火活動をする」「119番通報する」などいろいろあると思います。

自分が火災に遭うと思って生活している人はほばいないと思いますので、火災の発生は私たちに大きな不安や恐怖をあたえます。火事の恐怖からパニックになり、冷静な判断ができず、正しく避難できなくなることもあります。

災害時、人はその恐怖や苦痛から逃れるためによく知らない経路を避けたり、明るい方向に向かったり、大勢の人が行く方向に何も考えずについて行ったり、動けなくなっ



もしものときのために
確認しておこう！

- 家族との連絡方法
- 避難場所
- 消火器の使い方
- 119番通報の仕方

たり、その場の危険から逃れようとして、もっと危険な行動（例えば火事から逃げるためにベランダから飛び降りたり）をする傾向があります。

避難訓練は、災害時のパニックを防ぎ、冷静に判断し、自らの命を守ることができる行動を取れるようにする訓練です。訓練を重ねることで、体と頭に災害時の行動を覚えてもらうことができます。

今週末には火事を想定した避難訓練が実施されます。今回の出火想定場所は知っていますか？なぜ、決められた避難経路を使用するのだと思いますか？避難経路に危険はありませんか？避難するときに注意することは何でしょうか？

今回の訓練では想像力を働かせて、周囲を観察し、考えながら避難してみてください。



みんなで考えてみよう！

問題

あなたのお家は2階建てです。今日の夕食は家族の大好きな天ぷらです。1階の台所で天ぷら油をちょうど火にかけたときに居間の電話が鳴ったので、電話に出るために火を弱くしてその場を離れました。戻ってみると鍋からは炎が上がり、台所中に油の焦げた匂いと煙が立ちこめています。

このとき取るべき行動は何でしょうか？

下記の（ア）～（シ）の中から**大事な行動だ**と思うことから**やってはいけないこと**まで、順に1～12位まで順位をつけてください。

あなたの
考えた順位

（同じ順位はつけないこと）

- () (ア) 洗って切ってあった野菜を鍋に投げ込む
- () (イ) ガスコンロの栓を閉める
- () (ウ) 2階へ貴重品を取りに行く
- () (エ) 「火事だ！」と大声で叫ぶ
- () (オ) 物置にしまっている消火器を取りに行く
- () (カ) 火が付いたままの鍋を窓から捨てる
- () (キ) 家族に逃げるように呼びかける
- () (ク) マヨネーズを容器ごと鍋に入れる
- () (ケ) 30秒間火の様子を観察する
- () (コ) 鍋に水をかける
- () (サ) 119番通報する
- () (シ) 木綿のエプロンやふきんを濡らして軽く絞り、鍋に掛ける

この問題には正解があります。

正解は27日に保健室前の掲示板に掲示します。

友だちや家族とも相談して、できるだけ正解に近い答えを出してくださいね。

